

FFFTP

■入手方法

Sota web page (<http://www2.biglobe.ne.jp/~sota/ffftp.html>) からダウンロードできます。
このソフトはフリーウェアです。

使用方法

- [登録設定](#)
- [転送する](#)
- [切断する](#)

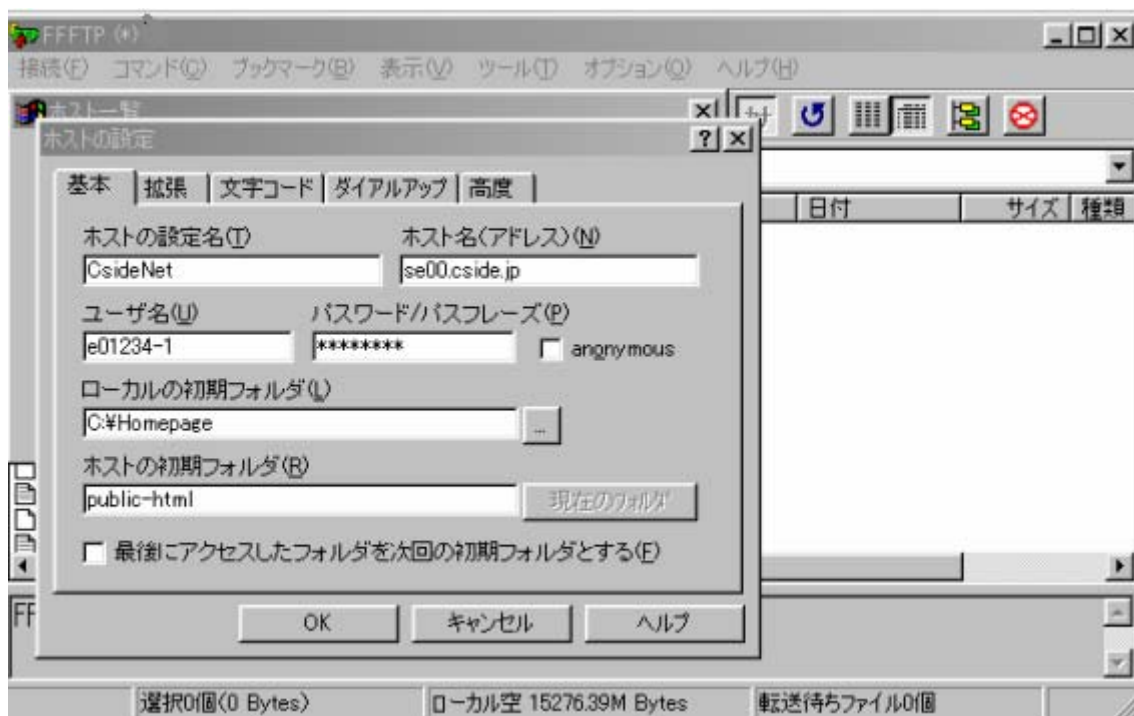
の順に説明していきます。

登録設定

メニューの「[接続](#)」ボタンを押すと下のようなホストに接続ダイアログが表示されます。
「[個人用フォルダ](#)」を選択して「[新規ホスト](#)」ボタンを押してください。



次に、「ホストの設定」が表示されますので、各項目を入力します。

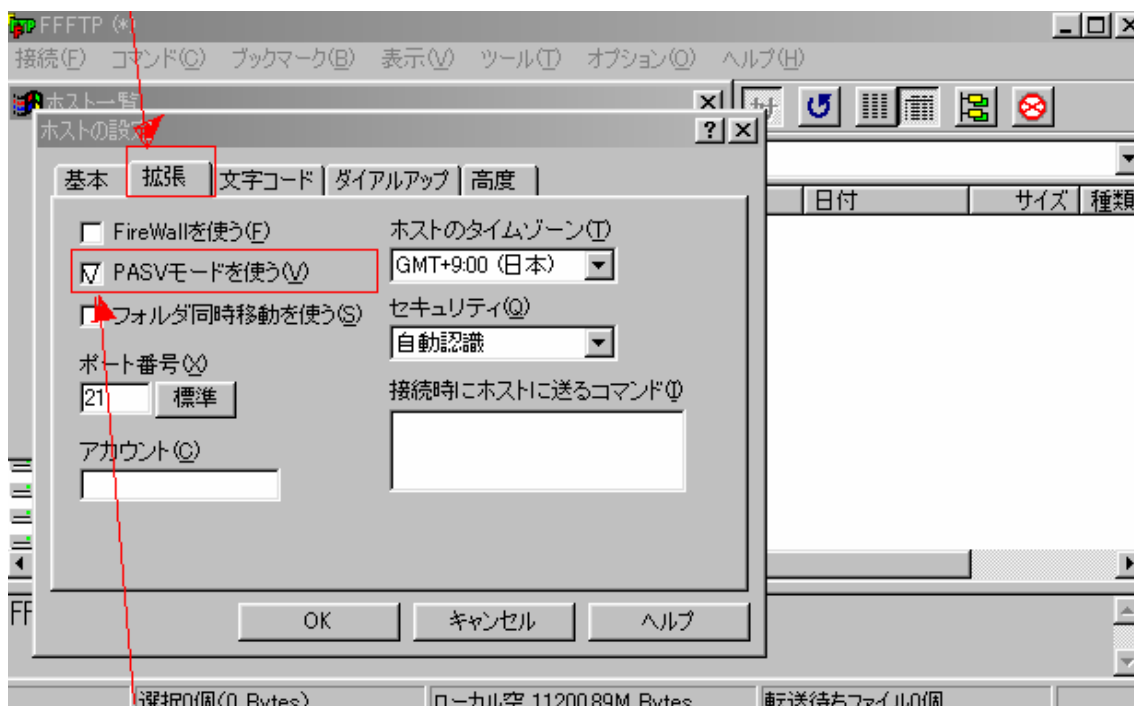


- ホスト名
登録するホストに、分かりやすい名前を付けてください。
ここでは仮に、CsideNet と入力します。
- ホストアドレス
あなたのホームページを置くホスト（FTPサーバ）のアドレスを入力します。
ここには、se00.cside.jp といったサーバ設定完了通知の
サーバ設定情報にある「FTP SERVER」を入力してください。
- ユーザーIDとパスワード
サーバ設定完了通知のサーバ設定情報にある
「ユーザーID」と「パスワード」を入力します。
ここでは仮に、「ユーザーID」を e01234-1 おしておきます。
- ホスト開始フォルダ
あなたのホームページを入れるフォルダ名です。
必ず **<public_html>** と入力してください。
- ローカル開始フォルダ
パソコンのハードディスクの中に、ホームページ作成用の専用フォルダを作って、

その中に自分のホームページを作成していることと思います。

ここでは、パソコンのハードディスクの中の、転送元となるフォルダ名を入力してください。ここでは仮に、C:\¥Homepage としておきます。

続いて、「拡張」を選択してください。



CsideNet のホストでは基本的に PASV モードを試用するほうがいいと思われるので、「PASV モード」にチェックしてください。接続しない場合はチェックを外してください。

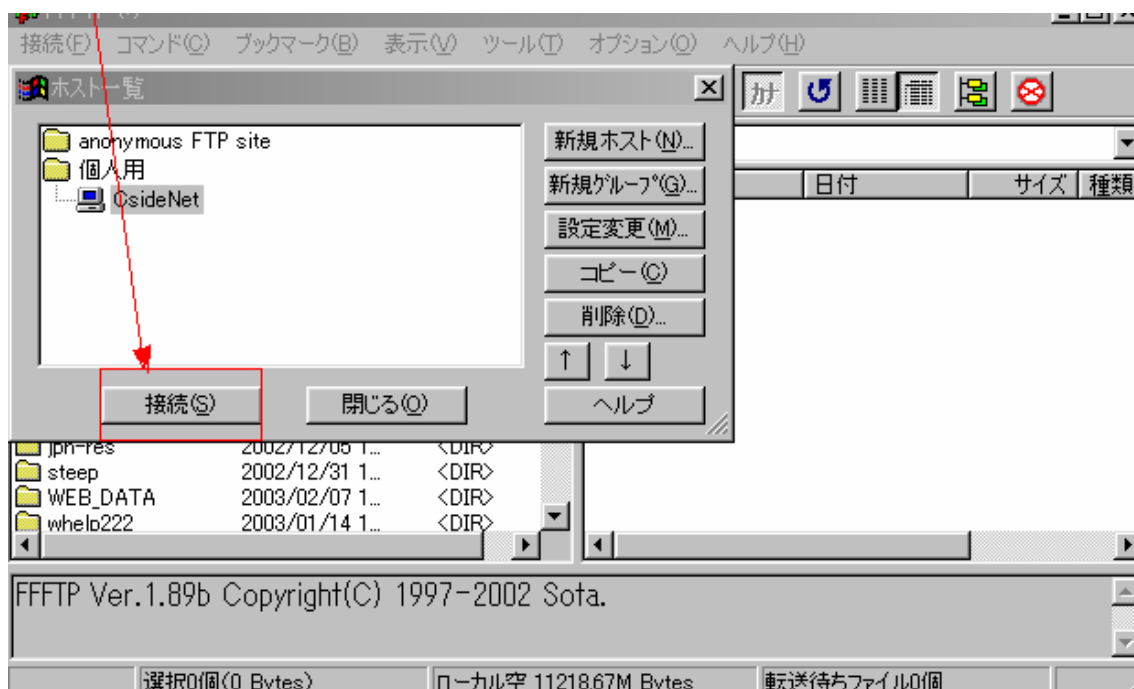
これらの入力が終わったら「OK」ボタンを押してください。

新しいホストが、個人用フォルダ内に登録されます。

転送する

インターネットにつないだ状態で

ホストに接続ダイアログを表示し、先ほど作成した「CsideNet」を選択して、「接続」ボタンを押してください。ホストに接続されます。



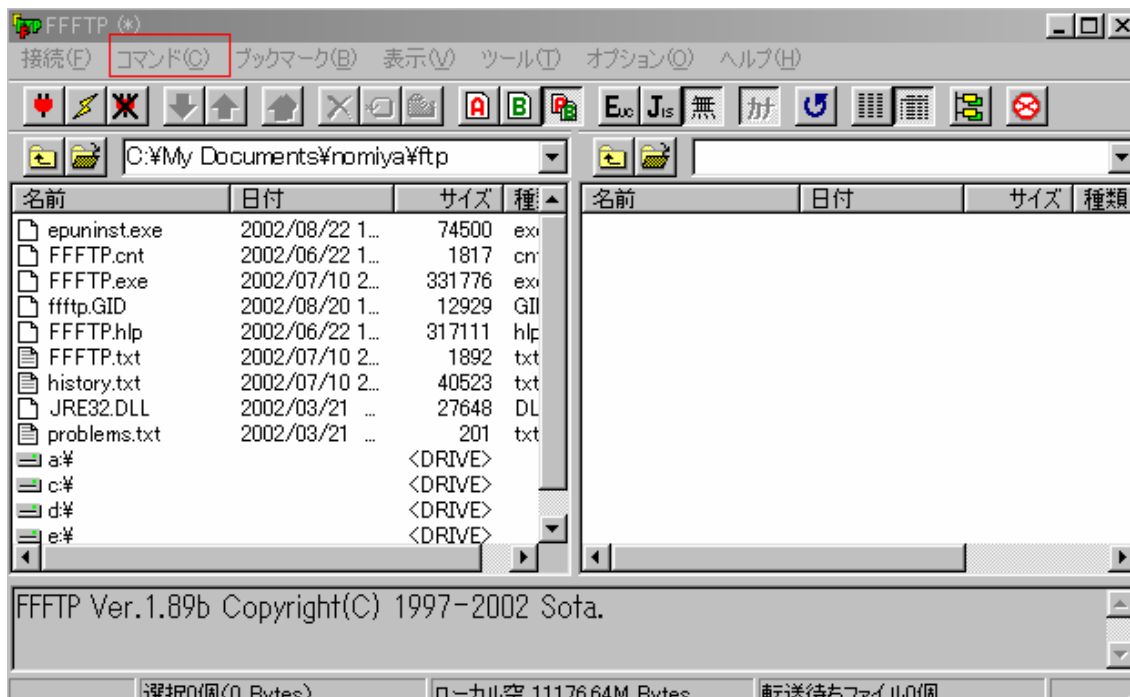
うまくホストに接続できなかったときは、「設定変更」ボタンを押して、ホストの設定をもう一度よく確認してください。

ホストに接続すると、左側にローカル（パソコンのハードディスク）、右側にホスト（FTPサーバ）の内容が表示されます。ホームページを転送する前に、ローカルとホストのフォルダを確認してください。

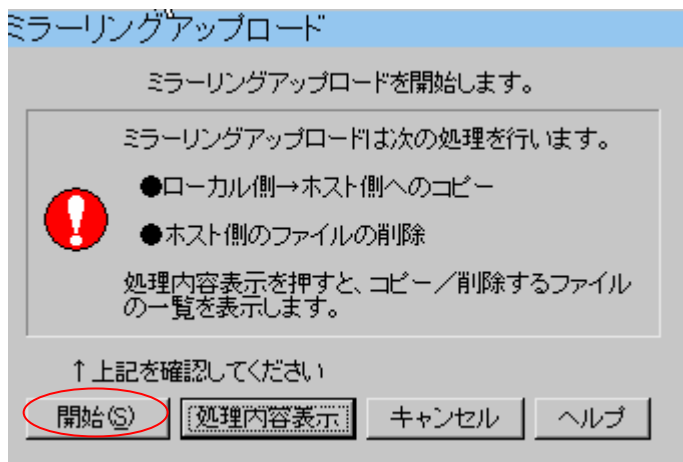
FFFTPには、ホームページ一括転送機能がありますので、ホームページを簡単に転送できます。

ホームページを転送するには、

「コマンド」の「ミラーリングアップロード」をクリックしてください。



次に「開始ボタン」を押すと、



全自動でホームページの転送が行われます。

ホームページ転送機能を使うと、ファイルのタイムスタンプを比較し、更新されたファイルのみを転送します。

ホームページがサブフォルダを使った階層構造になっている場合、自動的にフォルダを作成し、フォルダを下降しながら転送します。


また、不要になったファイルは、自動的に削除されます。

CsideNet のホームページに使用するファイル名は、
大文字と小文字が区別されます。

ご注意

- フォルダは自動的に削除できません。
不要になったフォルダは手動で削除するようにしてください。
FFFTP には、中身の入ったフォルダを削除する機能があります。
- ホームページの容量がいっぱいになると、
転送が失敗することがあります。転送前に容量を確認してください。
- 転送を途中で中止したり、転送の途中で回線が切断されると、
ホスト上に中途半端な状態でファイルが残ることがあります。
再度ホームページ転送を行えば、中断されたファイルを自動的に再転送します。

切断する

ホームページが転送できたら、 ボタンを押して、ホストから切断してください。

念のため、自分のホームページをブラウザで開いて、転送がうまくできているか確認してください。